

吉井勇を読む!

日本の近代戯曲を読む!

3月11日(月)リーディング

『どくろまい 髑髏舞』
を中心に狂芸人、
句楽ものを構成

作◎吉井勇 演出◎篠本賢一

3月12日(火)リーディング

『かわちやよへい 河内屋与兵衛』

『げきじょういりぐちのはんじかん 劇場入口の半時間』

作◎吉井勇 演出◎松森望宏

出演

中村 喙 夫
林 英 樹
佐川大輔
加藤明美

藤田三三三 ほか

2013年3月11日(月)、12日(火) 下北沢「劇」小劇場

稽古場見学
出来ます!
ご希望の方は
お問合せ下さい。

明治以降の劇作家が新たな演劇を求め、
何に挑んだかを探るリーディングとシンポジウムの二本立て!!

“近代”戯曲を読み直し、“現在”の問題を見つめ直す。演劇史に綺羅星のように輝く戯曲から、そうでない戯曲まで、
何が語られ、何が見捨てられてきたのか、新たな発見を求めて、戯曲を「読み」そしてシンポジウムで「語る」。

3月11日(月)

19:30～『髑髏舞』

作:吉井勇 演出:篠本賢一

20:30(予定)～シンポジウム

『蝶花楼馬楽と句楽もの』

シンポジウムゲスト:矢野誠一

料金:2,000円 ※リーディングのみ1,500円
(全席自由席/協会員無料)

3月12日(火)

19:30～『河内屋与兵衛』『劇場入口の半時間』

作:吉井勇 演出:松森望宏

20:30(予定)～シンポジウム

『歌人・吉井勇と日本近代劇の夜明け』

シンポジウムゲスト:吉井勇研究者(未定)

料金:2,000円 ※リーディングのみ1,500円
(全席自由席/協会員無料)

文化庁委託事業「平成24年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

主催◆文化庁/日本演出者協会 制作◆日本演出者協会



◆『髑髏舞』演出助手/川口典成 ◆『河内屋与兵衛』『劇場入口の半時間』演出助手/青井陽治 ◆照明/安達直美 ◆音響/畑圭
◆宣伝美術/前嶋のの ◆当日運営/三村里奈(MR.co.) ◆プロデューサー/青井陽治・篠本賢一